

2025年6月吉日

各位

(一社)日本溶射学会
会長 高橋 智
[公印略]

(一社)日本溶射学会 研究分科会メンバー募集

日頃、学会活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、第121回全国講演大会でお知らせしたように、第41期では3つの研究分科会を新たに立ち上げることにしました。溶射技術の新たな可能性を探求できる分科会ですので、奮ってご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

【参加資格】日本溶射学会 正会員、法人会員。非会員の方は入会手続き後にお申込みください。

【申込方法】下記フォームからお申込みください。

参加希望の分科会に、①氏名、②勤務先、③メールアドレスを入力ください。

複数の分科会に参加希望の場合は、それぞれの分科会に入力ください。

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=mpb08o-bkk2TnEVb-RYJbSFscgCDSdpFuXw7WiJMDsJUMVc2UFBMT0hBRk5QRFA3TzMyV01MQThIWS4u>



【申込期限】 7月11日(金)とします。その後も8月18日(月)まで追加申込を受付けますが、7月から活動を開始しますので、できるだけ早めにお申込みください。

【問合せ先】 日本溶射学会事務局, TEL : 06-6722-0096, E-mail: jtss@jtss.or.jp

表 研究分科会一覧

「皮膜強度」研究分科会

- **主 査** : 小川和洋 (東北大学)
- **概 要** : 近年の高圧・高温・高密度等の苛酷な条件下で使用される溶射皮膜では、さらなる強度信頼性の向上が重要である。本分科会では、溶射条件、粒子の径・形状・粒度分布、基材表面状態等を変化させた場合の皮膜強度・界面強度を評価・検討し、安全性・信頼性に富む、皮膜の開発を図る。また、正確な皮膜強度・界面強度評価手法に関しても検討する。

「AI 技術活用」研究分科会

- **主 査** : 渡邊 誠 (国立研究開発法人 物質・材料研究機構)
- **概 要** : AI 技術は大きな技術革新を引き起こしつつある。人間のような自然な対話が可能となり、膨大な知識を有するライブラリーとしての利用や、様々な文書の要約・翻訳、プログラミング、データ分析など、多様な応用が可能である。本分科会では、最新の身近な AI 技術について理解を深め、参画メンバー同士の情報交流を通じて、溶射産業や研究における事例の創出を図る。

「溶射プロセスにおけるライフサイクル環境負荷評価」研究分科会

- **主 査** : 和田国彦 (株式会社 東芝)
- **概 要** : サステナブルな社会の実現に向けて、その基盤となる製品ライフサイクルにおける環境負荷を評価するライフサイクルアセスメントやカーボンフットプリント等の手法の重要性が高まっている。本分科会では、これら手法の技術動向を調査するとともに、溶射プロセスや溶射皮膜を適用した製品のユースケースを想定した環境負荷評価を行いながら、算定手法の確立に向けた課題や、溶射における CO₂ 排出量等の環境負荷低減のポイントを一緒に考えてゆきたい。